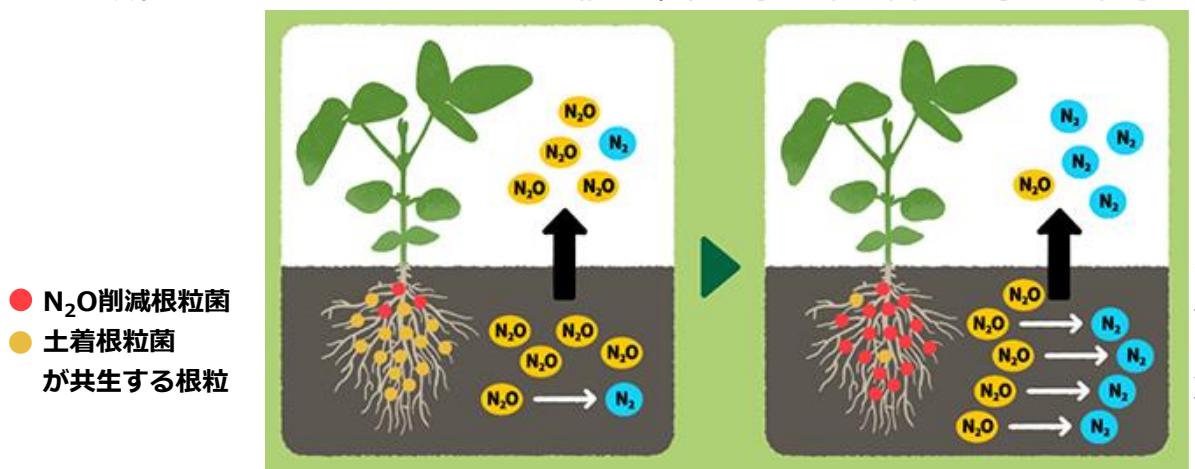


ダイズ・根粒菌共生系で温室効果ガスN₂Oを削減 —開発した共生系によりN₂O排出量を74%削減—

成果のポイント（ここがスゴい！）

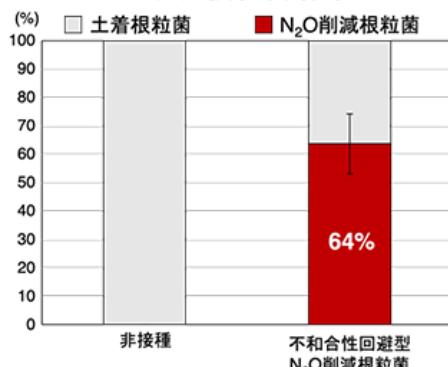
- 農地由来の温室効果ガスN₂Oを削減する技術の開発は世界的な課題。
- ダイズは土壌中の根粒菌と共生して、根に根粒を形成する。
- N₂O削減能力の低い土着根粒菌の共生を抑制し、N₂O削減能力の高い根粒菌を優占的に共生させるダイズ・根粒菌共生系を開発。
- この技術により、収穫後のダイズほ場から放出されるN₂Oの量を大幅に削減することに成功。

研究機関：農研機構、東北大学、帯広畜産大学、理化学研究所

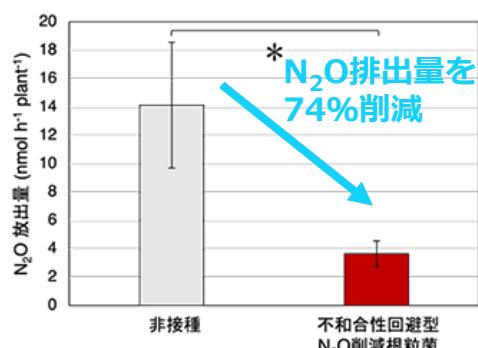


N₂O削減根粒菌が共生する根粒の割合を高めたダイズ・根粒菌共生系の開発

(A) 根粒占有率



(B) N₂O放出量



ダイズにN₂O削減根粒菌が優占的に共生し(A)、ほ場からのN₂O放出量を大幅に削減(B)

導入により期待される効果

ダイズほ場から放出されるN₂O排出量が大きく削減されることで、環境負荷の少ないダイズ生産が可能となり、地球温暖化の抑制に貢献。

連絡先 農研機構 生物機能利用研究部門 研究推進室

TEL 029-838-7426